

CAR No.34&35&36

スーパーFJ

アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE

Beyond

2012/ 4/29



スーパーFJ ツインリンクもてぎシリーズ 第 2 戦

4月28日(土) 予選 29日(日)決勝

ロードコース 1LAP=4.801km

天候：晴れ コース：ドライ 出走：22台

気温：23℃ 湿度：37% 路温：30℃

ドライバー：大久保一成 (AlbirexRT エンドレス #34)

太田達也 (アルビ RT 玉三郎 ED 岩本 #35)

湊 雅之 (アルビ RT 玉三郎 Dream. #36)

決勝結果 : 湊選手 7位

太田選手 規定周回数満たず

大久保選手 リタイヤ

予選でコンマ6秒の間に湊・太田両選手含む7選手が集中するも
決勝結果には結び付けられず

■4月28日(土) 予選

前日の雨とは打って変わって天候は晴れ、コースもドライの中、13時50分、予選開始。第1戦で思うような結果が残せなかった3選手は、気持ちを切り替え第2戦に望む。

予選が進むにつれ、各選手が次々にベストラップを更新する中、湊選手・太田選手も順調にラップを刻む。太田選手は6周目、湊選手は最終8周目にベストラップをマーク。結果、湊選手は6位と0.041秒差で7番手、太田選手は8位と0.075秒差で9番手を獲得。予選1位が2位と1.3秒差をつけコースレコードを記録する中、約1秒以内に2位から9位太田選手までの8選手が入る僅差での予選となった。特に3位から9位は0.6秒以内の大激戦となり、決勝での表彰台獲得に期待が持てる結果となった。

大久保選手はペースが上がらず20番手となる。

■4月29日(日) 決勝

10時15分決勝開始。大久保選手はスタート直後に接触、足回りにダメージを抱えてしま

いりタイヤとなった。

湊選手・太田選手は順調にスタートし、それぞれ 5 番手・6 番手までポジションアップ。しかし、湊選手はオープニングラップ 3 周目の 3 コーナーで接触。これにより車のバランスが変わってしまい、なかなかペースが上がらない。

すると 2 周目の最終コーナー、ペースの上がない湊選手に引っかかっていた格好の太田選手が湊選手をかわそうとしたところでスピニアウト。コース復帰までに時間がかかってしまい、チェッカーフラッグは受けたものの規定周回数に達せず完走扱いとはならなかった。

湊選手はそのまま速さを取り戻すことができず、ずるずると後退。予選と同じく、入賞まであと 1 歩となる 7 位でレースを終了した。

○大久保選手コメント

自分のミスによりこのような結果になってしまい悔しいです。速さも足りないので、次はミスのないように、予選でもっと上位に入れるように頑張ります。

○太田選手コメント

クルマの動きにも慣れてきました。速さも出せるようになってきたので、スピンは悔いが残ります。次は表彰台が獲得できるように、もっと練習して望みたいです。

○湊選手コメント

予選が僅差だったので表彰台を獲得しようと頑張りましたが、スタート直後の接触が痛かったです。次こそ表彰台に上られるように頑張ります。

○中村監督コメント

残念な結果となりました。ただ、車の方向性も見えてきて、予選ではいいタイムが出せるようになってきました。決勝に関しては練習が必要なことがわかりました。次回は皆さんの期待に答えられるよう頑張ります。





 Nankai Plan Co.,Ltd.

